

チャペル週報

我々は主を知ろう。
主を知ることを追い求めよう。
主は曙の光のように必ず現れ
降り注ぐ雨のように
大地を潤す春雨のように
我々を訪れてくださる。
(ホセア書 6 : 3)



2005 4 25 ~ 5.6 No.3
関西学院宗教センター

チャペル・スケジュール

時間 10:35 ~ 11:05 場所 各学部チャペル

- 4月25日(月) 神 木村弘美 (M2)
社 上ヶ原ハビタットによるチャペル
経 宗教総部への招き
院 畑 道也 (院長)
-
- 4月26日(火) 神 土井健司 (神学部助教授)
文 田淵 結 (宗教主事)
法 大久保有記 (法4)
経 聖歌隊と讃美歌を歌おう 関西学院聖歌隊
商 千刈キャンプへの誘い (千刈リーダーズクラブ)
総 細見和志 (総合政策学部助教授)
-
- 4月27日(水) 神 交わりの会
文 細川正義 (文学部教授)
社 チャペル・メデイション イースターを覚えて ブラザー・ギラン (テゼ共同体)
法 イースターを覚えて Christian Morimoto Hermansen
経 イースターを覚えて 舟木 譲 (宗教主事)
商 混声合唱団「エゴラド」チャペルコンサート
理 春のチャペルコンサート 関西学院理工学部アンサンブル
総 Paul Hays (総合政策学部教授)
-
- 4月28日(木) 神 橋本祐樹 (M2)
法 ハビタットの活動 ハビタット
経 English Chapel Michael Lessard-Clouston (宣教師)
商 English Chapel Richard Stinson (宣教師)
総 Joe DeChicchis (総合政策学部教授)
-
- 5月2日(月) 神 窪寺俊之 (神学部教授)
社 混声合唱団エゴラド
経 舟木 譲 (宗教主事)
院 田淵 結 (宗教主事)
-
- 5月6日(金) 神 根末文世 (M2)
文 音楽チャペル 混声合唱団エゴラド
社 キリスト教とわたし 打樋啓史 (宗教主事)
経 上ヶ原ハビタットの働きを覚えて 上ヶ原ハビタット
商 辻 学 (宗教主事)
理 「あせらず、あわてず、落ち着いて！」松木真一 (宗教主事)
-

ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20 ~ 8:40 於:ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

5月6日(金) 寮生・下宿生のために 仲 映子

総合政策学部早天祈祷会 毎木曜日 午前8:40 ~ 於 宗教主事室

イースターについて

樋 口 進

イースター（復活日）は、イエス・キリストの復活を記念する日です。これは、キリスト教に於いては、クリスマス、ペンテコステ（聖霊降臨日）と並んで最も重要な祝日です。

イースターは、最も古くから祝われていました。最初は、ユダヤ教の過越の日に祝われたり、その次の日曜に祝われたりして、論争が起こり（復活日論争）、ニカイア総会議（325年）以後、春分の次の満月の次の日曜日を復活日とすることに定められました。イースターという呼び名は、ゲルマンの春の女神 Austro に由来すると言われていています。

イースターは、満月を基準にしますから、クリスマスとは違って、年によって移動する祝日です。今年は、3月27日でしたが、来年は4月16日になります。ちなみに、関西学院のイースター礼拝は、4月27日（4月の第4水曜日）に行われます。教会のイースター礼拝からは1ヶ月遅れということになります。

聖書の記事によりますと、イエスの復活は日曜の早朝に起こったとありますので、それを記念して日曜日に礼拝を行うようになりました。それまでは、ユダヤ教の安息日は土曜日でしたが、キリスト教では、イエスの復活を記念して、日曜日が礼拝の日となりました。そこで、西洋では、日曜日が休日とする伝統が生まれ、日本でも明治政府が日曜日を休日としたのです。現在日曜日は、休日として定着していますが、元々はイエスの復活を記念する日として始まったのです。

イースターには、きれいに色づけされたゆで玉子が配られる習慣もあります。私は牧師をしていた時、イースターの前日はよく日曜学校の先生たちとこの玉子づくりをしました。最近「エッグアート」といって、かわいい絵の描かれているものをゆで卵にかぶせるやり方もあります。きれいに出来上がった玉子を教会のいろいろなところに隠して、イースターの日の日曜学校の生徒たちが玉子探しをするのが、子供たちの楽しい体験となっています。玉子から新しい生命がその殻を破って出てくるというのが、復活のイメージとなっているからこのような習慣が生まれたのでしょう。

キリストの復活によって、私たちが死で終わるのでなく、復活の希望が与えられていることを信じるのが、キリスト教の信仰です。

関西学院イースター礼拝

イースター礼拝の中にキリスト教と関西学院のルーツを探してみましょう。

テーマ：平和の計画 A Future of Peace

メッセージ：ブラザー・ギラン（テゼ共同体）

と き：4月27日（水）午後5時～6時20分

ところ：ランバス記念礼拝堂（上ヶ原）

主 催：関西学院宗教活動委員会

第164回ランバス演奏会

「ディヴィジョン&グラウンド&シャコンヌ」

ルネサンス、バロックのリュート歌曲のスペシャリストとして有名なデュオをお迎えして、チャペルコンサートを開催いたします。

平井満美子 / ソプラノ

佐野 健二 / ルネサンスリュート、バロックリュート

と き：5月12日（木）午後5時開演

ところ：ランバス記念礼拝堂（上ヶ原）

<入場無料>

CDライブラリー

宗教センター事務室には教会音楽に関するCDを備えています。本学学生及び教職員であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までどうぞ。

教職員・学生有志による日曜礼拝

授業期間中の第2第4日曜日に一部英語を用いるバイリンガル形式で礼拝が行われています。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

5月8日（日）22日（日）

午前10時～11時 関西学院会館ベーツチャペル

使用済み切手収集にご協力ください

本学では、日本キリスト教海外医療協力会（JOC S）切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。記念切手、外国切手だけでなく、通常切手も対象としています。宗教センター常設の回収箱にお届けください。